

エリザベト演奏グレード検定試験課題  
鍵盤楽器  
ピアノ・副科ピアノ  
【最新版】

【留意事項】

1. すべて暗譜のこと。
2. 指定のある課題以外は繰り返しなしで弾くこと。
3. 任意の曲は、クラシック作品あるいはそれに準ずるものとします。
4. グレード6以上の受験には、1つ下のグレードの取得が必要です。
5. 申込方法は、エリザベト音楽大学発行の『受験案内』を参照ください。

ピアノ

グレード1	2
グレード2	2
グレード3	3
グレード4	4
グレード5	5
グレード6	5
グレード7	6
グレード8	6
グレード9	7
グレード10	7

# 【ピアノ】

## グレード1

### 技術課題

以下の(1)及び(2)

- (1) 音階：ハ長調とイ短調。(短調は和声的短音階と旋律的短音階を続けて弾くこと。)  
以下の奏法にしたがって弾くこと。テンポは 四分音符=60以上とする。

ハ長調

♩=60以上

イ短調 (和声的短音階)

(旋律的短音階)

♩=60以上

- (2) F バイエル F Beyer: 《ピアノ教則本 Vorschule im Klavierspiel》第51番以降より1曲又は同程度の練習曲1曲。

### 楽曲

以下の(a)~(g)の中から1つを選択。

- (a) W A モーツァルト W A Mozart: 《メヌエットとトリオ》KV1、《メヌエット》KV2、《アレグロ》KV3 の中から1曲。  
(b) D ジェフロワ D Geoffroy: 《カイエ・ドウ・ルモワヌ1》より1曲。  
(c) C グルリット C Gurlitt: 《こども音楽会 Der erste Vortrag》op 210より1曲。  
(d) W ギロック W Gillock: 《はじめてのギロック Accent on Solos》より1曲。  
(e) J S バスティン J S Bastien: 《バスティン先生のお気に入り Bastien Favorites》レベル1、レベル2の中から1曲。  
(f) 中村佐和子: 《かぶとむしがきょうだいで》より1曲。  
(g) 林光: 《ピアノの本》より1曲。

## グレード2

### 技術課題

以下の(1)及び(2)

- (1) 音階：調号がシャープ、フラット1つまでの調を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調(和声的短音階・旋律的短音階両方とする。)1組を試験時に指定。  
以下の奏法にしたがって弾くこと。テンポは四分音符=100以上とする。

ハ長調

♩=100以上



イ短調 (和声的短音階)

♩=100以上



(旋律的短音階)



- (2) F ルクーペ F Le Couppey : 《ピアノの練習 ABC L'ABC》 op 17より1曲又は同程度の練習曲1曲。

楽曲

以下の(1)及び(2)

- (1) JS バッハ J S Bach : 《アンナマグダレーナのためのクラヴィーア小曲集 Die Klavierbüchlein für Anna Magdalena Bach》より1曲。
- (2) 以下の(a)~(g)の中から1つを選択。
  - (a) WA モーツァルト W A Mozart : 《ウィーン・ソナチネ第1番 Viennese Sonatina no 1》より1つの楽章。
  - (b) J ブルクミュラー J Burgmüller : 《25の練習曲 25 Easy Studies》より1曲。
  - (c) B バルトーク B Bartók : 《子供のために For Children》第1巻より1曲。
  - (d) D D ショスタコーヴィチ D D Shostakovich : 《人形の舞曲 Dances of the Dolls》より1曲。
  - (e) W ギロック W Gillock : 《こどものためのアルバム Album for Children》より1曲。
  - (f) 湯山昭 : 《ピアノ曲集 こどもの国》より1曲。
  - (g) 平吉毅洲 : 《南の風》より1曲。

グレード3

技術課題

以下の(1)及び(2)

- (1) 音階 : 調号がシャープ、フラット2つまでの調を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調 (短調は和声的短音階と旋律的短音階両方弾くこと) 1組を試験時に指定。奏法は《ハノン》第39番に

準ずる（4オクターブ）。長調は繰り返しなしでカデンツを付けること。短調は和声的短音階に続きカデンツなしですぐに旋律的短音階を弾いた後にカデンツを付けること。テンポは四分音符＝100以上とする。

- (2) 以下の(a)～(b)の中から1つを選択。
- (a) F ルクーペ F Le Couppey : 《ラジリテ L'Agilité》 op 20より1曲。
  - (b) H ルモアヌ H Lemoine : 《こどものための50の練習曲 Études enfantines》 op 37より1曲。

#### 楽曲

以下の(1)及び(2)

- (1) 以下の(a)～(b)の中から1つを選択。
- (a) J S バッハ J S Bach : 《フランス組曲 Französische Suiten》 BWV 812-817より1つの舞曲。
  - (b) J S バッハ J S Bach : 《小プレリュード、小フーガ Kleine Präludien und Fughetten》より1曲。
- (2) 以下の(a)～(g)の中から1つを選択。
- (a) 《ソナチネアルバム》第I巻よりソナチネの1つの楽章（緩徐楽章を除く）。
  - (b) R シューマン R Schumann : 《こどものためのアルバム Album für die Jugend》 op 68より1曲。
  - (c) P I チャイコフスキー P I Tchaikovsky : 《こどものためのアルバム Album for the Young》 op 39より1曲。
  - (d) E H グリーグ E H Grieg : 《抒情小曲集 Lyric Pieces》より1曲。
  - (e) A I ハチャトゥリアン A I Khachaturian : 《少年時代の画集 Pictures of Childhood》より1曲。
  - (f) W ギロック W Gillock : 《抒情小曲集 Lyric Preludes in Romantic Style》より1曲。
  - (g) 平吉毅州 : 《虹のリズム》より1曲。

### グレード4

#### 技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) 音階：調号がシャープ、フラット3つまでの調を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調1組を試験時に指定（4オクターブ）。奏法は《ハノン》第39番に準ずる。長調は繰り返しなしでカデンツを付けること。短調は和声的短音階に続きカデンツなしですぐに旋律的短音階を弾いた後にカデンツを付けること。テンポは四分音符＝100以上とする。
- (2) 以下の(a)～(b)の中から1つを選択。
- (a) C ツェルニー C Czerny : 《30の練習曲 Études de mécanisme》 op 849より1曲。
  - (b) J ブルクミュラー J Burgmüller : 《18の練習曲 18 Etüden》 op 109より1曲。

#### 楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) J S バッハ J S Bach : 《インヴェンション Inventionen》 BWV 772-786より1曲。
- (2) 以下の(a)～(g)の中から1つを選択。
- (a) 《ソナチネアルバム》第II巻より1つの楽章（緩徐楽章及び『ソナチネアルバム2』(全音楽譜出版社)より第10番 L v Beethoven : 《Sonatine no 5 G-Dur》、第11番 L v Beethoven : 《Sonatine no 6 F-Dur》、第12番 J Dussek : 《Sonatine no 4 A-Dur》 op 20を除く)。
  - (b) F シューベルト F Schubert : 《楽興の時 Moments musicaux》 op 94より1曲。
  - (c) F ショパン F Chopin : 《ワルツ集》より1曲。
  - (d) J イベール J Ibert : 《物語 Histoires》より1曲。
  - (e) D B カバレフスキー D B Kabalevsky : 《ソナチネ》 op 13-1より第1楽章又は第3楽章。
  - (f) 湯山昭 : 《日曜日のソナチネ》より1曲全楽章。
  - (g) 田中カレン : 《星のどうぶつたち》より1曲。

## グレード5

### 技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) 全調の音階の中から、平行調の関係にある長調・短調1組を試験時に指定。奏法は《ハノン》第39番に準ずる。長調は繰り返しなしでカデンツを付けること。短調は和声的短音階に続きカデンツなしですぐに旋律的短音階を弾いた後にカデンツを付けること。テンポは、四分音符 = 120以上。
- (2) 以下の(a)～(b)の中から1つを選択。
  - (a) C ツェルニー C Czerny : 《40の練習曲 Schule der Geläufigkeit》 op 299より1曲。
  - (b) M モシユコフスキー M Moszkowsky : 《20の小練習曲 20 Petites Études》 op 91より1曲。

### 楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) J S バッハ J S Bach : 《シンフォニア Sinfonien》 BWV 787-801 より1曲。
- (2) 以下の(a)～(g)の中から1つを選択。
  - (a) 《ソナタアルバム》第I巻、第II巻より1つの楽章（緩徐楽章を除く）。
  - (b) D スカルラッチィ D Scarlatti : 《ソナタ》より1曲。
  - (c) F シューベルト F Schubert : 《即興曲 Impromptus》 op 90、op 142より1曲。
  - (d) R シューマン R Schumann : 《森の情景 Waldszenen》 op 82より1曲。
  - (e) C ドビュッシー C Debussy : 《2つのアラベスク Deux Arabesques》より1曲。
  - (f) H カスキ : 《ピアノ小品集 Klavierstücke》より1曲。
  - (g) 中田喜直 : 《ピアノのための組曲《時間》《光と影》より1曲。

## グレード6

### 技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) 全調の音階とアルペッジオ（テンポは、四分音符=120）。平行調の関係にある長調・短調1組を試験時に指定。奏法は《ハノン》第39番及び第41番に準ずる。長調は繰り返しなしでカデンツを付けること。短調は和声的短音階に続きカデンツなしですぐに旋律的短音階を弾いた後にカデンツを付けること。アルペッジオは長調・短調とも繰り返しをつけ、続けて弾くこと。
- (2) 以下の(a)～(c)の中から1つを選択。
  - (a) C Czerny : 《Kunst der Fingerfertigkeit (50の練習曲)》 op 740より1曲。
  - (b) M Clementi : 《Gradus ad Parnassum》より1曲。
  - (c) M Moszkowski : 《15 Etudes de virtuosité (15の練習曲)》 op 72より1曲。

### 楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) J S Bach : 《Das Wohltemperierte Klavier (平均律)》第1巻 BWV 846-869、第2巻 BWV 870-893 より任意のフーガ1曲。
- (2) 5分程度の任意の曲（複数でもよい）。

例

- (a) W A Mozart : 《ピアノ・ソナタ》 KV 332、533、570 より
- (b) L v Beethoven : 《ピアノ・ソナタ》 op 2-1、10-1、10-2、14-2 より
- (c) F Chopin : 《Nocturne》より
- (d) R Schumann : 《Phantasiestücke (幻想小曲集)》 op 12より
- (e) J Brahms : 《Zwei Rhapsodien》 op 79-1、79-2より
- (f) C Debussy : 《Suite bergamasque》より
- (g) D Shostakovich : 《24 Préludes》 op 34より
- (h) 尾高尚忠 : 《ソナチネ》より

## グレード7

### 技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) 全調の音階とアルペッジオ（平行調の関係にある長調・短調1組を試験時に指定。奏法は《ハノン》第39番及び第41番に準ずる。長調は繰り返しなしでカデンツを付けること。短調は和声的短音階に続きカデンツなしですぐに旋律的短音階を弾いた後にカデンツを付けること。アルペッジオは長調・短調とも繰り返しをつけ、続けて弾くこと。テンポは、四分音符＝138以上）。
- (2) 以下の(a)、(b)のどちらかを選択。
  - (a) I Moscheles : 《24の練習曲》 op 70より1曲。
  - (b) C Czerny : 《Schule des Virtuosen (60の練習曲)》 op 365より1曲。

### 楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) J S Bach : 《Das Wohltemperierte Klavier (平均律)》第1巻 BWV 846-869、第2巻 BWV 870-893 より1組のプレリュードとフーガ。
- (2) 7分程度の曲（抜粋可）。

例

- (a) W A Mozart : 《ピアノ・ソナタ》 KV 331、576
- (b) L v Beethoven : 《ピアノ・ソナタ》 op 26、53、81a、90
- (c) C M v Weber : 《ピアノ・ソナタ第1番 ハ長調》 op 24
- (d) F Chopin : 《Ballade 第1番》 op 23、《Ballade 第2番》 op 38、《Ballade 第3番》 op 47、《Scherzo 第1番》 op 20、《Scherzo 第2番》 op 31、《Scherzo 第3番》 op 39
- (e) R Schumann : 《ピアノ・ソナタ第2番 ト短調》 op 22、《Variationen über den Namen Abegg (アベック変奏曲)》 op 1
- (f) J Brahms : 《ピアノ・ソナタ第1番 ハ長調》 op 1、《ピアノ・ソナタ第2番 嬰へ短調》 op 2
- (g) C Saint-Saëns : 《Allegro Appassionato》 op 70
- (h) G Fauré : 《Nocturne》 op 33-2、33-3、37、《13曲の Barcarolle》より
- (i) C Debussy : 《Estampes (版画)》
- (j) M Ravel : 《ソナチネ》
- (k) S Rachmaninoff : 《Morceaux de fantaisie (幻想小品集)》 op 3より
- (l) 有馬礼子 : 《失われたものへの3章》より

## グレード8

### 技術課題

F Chopin、F Liszt の練習曲集より任意の1曲。

### 楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) J S Bach : 《Toccaten》 BWV 911-916 より1曲全曲。
- (2) 10分程度の曲（複数でもよい）。

例

- (a) J S Bach / F Busoni 編曲 : 《Chaconne aus der Partita d-moll für Violine (シャコンヌ)》
- (b) W A Mozart : 《Fantasie ハ短調》 KV475、《ピアノ・ソナタ ハ短調》 KV457
- (c) L v Beethoven : 《ピアノ・ソナタ ヘ短調》 op 57、《ピアノ・ソナタ ホ長調》 op 109
- (d) F Mendelssohn-Bartholdy : 《Variations sérieuses (厳格な変奏曲)》 op 54
- (e) F Liszt : 《Ballade 第2番》
- (f) F Chopin : 《Ballade 第4番》 op 52、《Scherzo 第4番》 op 54
- (g) A Skryabin : 《ピアノ・ソナタ第2番 嬰ト短調》 op 19

- (h) C Debussy : 《Image (映像)》第1集、第2集より
- (i) S Prokofiev : 《ピアノ・ソナタ第1番》、《ピアノ・ソナタ第2番》

## グレード9

技術課題・楽曲をあわせて30分程度のプログラムの演奏。

### 技術課題

以下の(1)、(2)のどちらかを選択。

- (1) F Chopin : 《練習曲集》 op 10、op 25より2曲。
- (2) F Liszt : 《Études d'exécution transcendante (超絶技巧練習曲) 》より1曲。

### 楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) バロック又は古典派の作品より5分程度の曲（複数でも良い）。
- (2) 15分程度の曲（複数でもよい）。

例

ソナタ全楽章、組曲全曲、変奏曲全曲、又はそれに匹敵する規模の作品。

## グレード10

技術課題・楽曲をあわせて広範囲な時代様式にわたる作品を含む60分程度のプログラムの演奏。

### 技術課題（繰り返しをしてもよい）

F Chopin の2つの《練習曲集》 op 10及び op 25（但し、op 10-9と op 25-2を除く）、又は F Liszt、C Debussy、S Rachmaninoff、A Scriabin の練習曲集より、異なる作曲家の作品を2曲以上。

### 楽曲

近年の諸国際コンクールの課題曲又はそれと同レベルの曲（但し、バロック又は古典派の作品を含めることが望ましい）。

例

- (a) L v Beethoven : 《ピアノ・ソナタ第30番 ホ長調》 op 109
- (b) L v Beethoven : 《ピアノ・ソナタ第31番 変イ長調》 op 110
- (c) F Chopin : 《ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 (葬送)》 op 35
- (d) R Schumann : 《Symphonische Etüden (交響的練習曲)》 op 13
- (e) J Brahms : 《Variationen und Fuge über ein Thema von Händel (ヘンデルの主題による変奏とフーガ)》 op 24
- (f) H Dutilleux : 《ピアノ・ソナタ》
- (g) 矢代秋雄 : 《ピアノ・ソナタ》

## パイプオルガン

### グレード1

#### 技術課題

以下の(1)及び(2)。(何れもピアノで演奏すること。)

- (1) 音階：ハ長調とイ短調、ト長調とホ短調、ヘ長調とニ短調の組み合わせの中から、試験時に1組を指定。以下の例にしたがった奏法で弾くこと。



- (2) 以下の(a)~(d)の中から1つを選択。
- (a) F. バイエル F. Beyer：《ピアノ教則本 Vorschule im Klavierspiel》下巻より1曲。
  - (b) D. C. グローバー D. C. Glover：《ピアノ教本 Piano Student》第2巻より1曲。
  - (c) J. バスティン J. Bastien：《ピアノベーシックス・ピアノ 3 Bastien Piano Basics Piano 3》より1曲。
  - (d) 《アルフレッドライブラリー 基礎コースレッスンシリーズ レベル2》(全音楽譜出版社)より1曲。

#### 楽曲

以下の(1)及び(2)。(何れもピアノで演奏すること。)

- (1) 中村佐和子：《かぶとむしがきょうだいで》(春秋社)より1曲。
- (2) 以下の(a)~(h)の中から1つを選択。
  - (a) W. A. モーツァルト W. A. Mozart：《メヌエットとトリオ》KV 1、《メヌエット》KV 2、《アレグロ》KV 3の中から1曲。
  - (b) L. ケラー L. Köhler：《こどものためのアルバム Kinder-Album》op. 210 (全音楽譜出版社)



より1曲。

- (c) L. ストリーボッグ L. Streabbog : 《金の星 Les Étoiles d'or》
- (d) H. リヒナー H. Lichner : 《短い物語 A Short Story》
- (e) C. グルリット C. Guritt : 《こども音楽会 Der erste Vortrag》 op. 210 (全音楽譜出版社) より1曲。
- (f) J.S. バスティン J.S. Bastien : 《バスティン先生のお気に入り Bastien Favorites》レベル1、レベル2の中から1曲。
- (g) D. ジェフロワ D. Geoffroy : 《アヴィニヨンの橋の上で Le Pont d'Avignon》 [[カイエ・ドゥ・ルモワンヌ 1]] (全音楽譜出版社) 所収
- (h) 湯山昭 : 《ピアノ・メソード こどもの宇宙 ステップⅡ》 (全音楽譜出版社) より1曲。

## グレード2

### 技術課題

以下の(1)、(2)のどちらかを選択。(何れもピアノで演奏すること。)

- (1) 音階：調号がシャープ、フラット2つまでの調を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調の中から試験時に1組を指定。以下の例にしたがった奏法で弾くこと。



- (2) 以下の(a)~(d)の中から1つを選択。

- (a) C. ツェルニー C. Czerny : 《100の練習曲 100 fortschrittliche Übungsstücke ohne Octaven》 op. 139 より1曲。
- (b) J. プルグミュラー J. Burgmüller : 《25の練習曲 25 Easy Studies》より1曲。
- (c) D.C. グローバー D.C. Glover : 《ピアノ教本 Piano Student》第3巻より1曲。
- (d) F.L. クーペ F.L. Couppéy : 《ピアノの練習 ABC L'ABC》 op. 17より1曲。

### 楽曲

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。(オルガンで演奏すること。)

- (a) 日本基督教団出版局編 : 《やさしい奏楽曲》 (オルガン曲集 第20番) より任意の1曲。
- (b) 日本基督教団出版局編 : 《30のエスキス》 (オルガン曲集 第22番) より任意の1曲。

## グレード3

### 技術課題

以下の(1)、(2)のどちらかを選択。(何れもピアノで演奏すること。)

- (1) 音階：調号がシャープ、フラット3つまでの調を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調の中から試験時に1組を指定。奏法はグレード2に同じ。
- (2) 以下の(a)~(c)の中から1つを選択。
  - (a) D.C. グローバー D.C. Glover : 《ピアノ教本 Piano Student》第4巻より1曲。
  - (b) F.L. クーペ F.L. Couppéy : 《ラジリテ L'Agilité》 op. 20より1曲。
  - (c) H. ビュイグ=ロジェ H. Puig-Roget 《ピアノ教本1 古典の巨匠とともに》 (音楽之友社) より1曲。

### 楽曲 (オルガンで演奏すること。)

- J.S. スヴェーリック J.S. Sweelinck のオルガン作品の中から任意の1曲を選択。

## グレード4

## 技術課題

以下の(1)、(2)のどちらかを選択。(何れもピアノで演奏すること。)

- (1) 全調の音階の中から、平行調の関係にある長調・短調を試験時に1組を指定。奏法は《ハノン》第39番に準ずる。
- (2) 以下の(a)、(b)のどちらかを選択。
  - (a) C. ツェルニー C. Czerny : 《30の練習曲 Études de mécanisme》 op. 849より1曲。
  - (b) H. ルモアーヌ H. Lemoine : 《こどものための50の練習曲 Études enfantines》 op. 37より1曲。

楽曲 (オルガンで演奏すること。)

D. ツィボーリ D. Zipoli、又は、J. J. フローベルガー J. J. Froberger のオルガン作品の中から任意の1曲を選択。

## グレード5

## 技術課題

以下の(1)、(2)のどちらかを選択。(何れもピアノで演奏すること。)

- (1) 以下の(a)及び(b)。
  - (a) 全調の音階の中から、平行調の関係にある長調・短調を試験時に1組指定。奏法は《ハノン》第39番に準ずる。
  - (b) 半音階。奏法は《ハノン》第40番のオクターブに準ずる。
- (2) 以下の(a)~(c)の中から1つを選択。
  - (a) C. ツェルニー C. Czerny : 《40の練習曲 Schule der Geläufigkeit》 op. 299より1曲。
  - (b) M. モシュコフスキー M. Moszkowsky : 《20の小練習曲 20 Petites Études》 op. 91より1曲。
  - (c) J. B. クラマー / H. v. ビューロー J. B. Cramer / H. v. Bülow : 《60の練習曲 60 ausgewählte Etüden》より1曲。

楽曲

以下の(a)~(e)の中から1曲を選択。(何れもオルガンで演奏すること。)

- (a) D. ブクステフーデ D. Buxtehude : 《カンツォーネ Canzona》 Bux WV 168 ニ短調
- (b) D. ブクステフーデ D. Buxtehude : 《カンツォーネ Canzona》 Bux WV 170 ト長調
- (c) D. ブクステフーデ D. Buxtehude : 《プレリユード Präludium》 Bux WV 162 ト長調
- (d) J. パッヘルベル J. Pachelbel : 《トッカータ ハ長調 Toccata》 (Bärenreiter 238)
- (e) J. パッヘルベル J. Pachelbel : 《4つのヴァリエーションによるコラル 「ふるいたて、我が心よ」 Choral mit 4 Variationen, Werde munter, mein Gemüte》 (Bärenreiter 1016)

## グレード6

(第6グレード以降のグレードでは、ピアノは用いず、すべてオルガンで演奏する。)

## 技術課題

C. Koch : 《Book of Scales》より、ト長調及びヘ長調

楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) 以下の(a)~(c)の中から1曲を選択。
  - (a) D. Buxtehude : 《In dulci júbilo》 Bux WV 197
  - (b) D. Buxtehude : 《Wir danken dir, Herr Jesu Christ》 Bux WV 224
  - (c) J. S. Bach : 《Orgelbüchlein》より、BWV 639又はBWV 636。
- (2) J. S. Bach : 《8 Kleine Präludien und Fugen》より、BWV 553 ハ長調、BWV 555 ホ短調、BWV 558

ト短調の中から1曲。

### グレード7

#### 技術課題

J.Schneider：《Pedalstudien für Orgel》op.48より、第19番及び第25番

#### 楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) F. Mendelssohn-Bartholdy の6曲の《オルガン・ソナタ》の中から任意の1曲。
- (2) バロック時代のトリオ形式の作品の中から任意の1曲。

### グレード8

#### 技術課題

R.Schumann：《Studien für den Pedalfügel》op.56より、第2番及び第5番

#### 楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) J.S.Bachの《前奏曲とフーガ》又は《トッカータ》より任意の1曲。
- (2) フランス古典に属する、N. de Grigny、L-N. Clérambault、J. Boyvin等の組曲の中から任意の1曲。  
演奏する楽章は試験時に指定。

### グレード9

#### 技術課題

技術課題は設けない。

#### 楽曲

以下の(1)及び(2)を含む。

- (1) J. S. Bachの6曲の《Trio Sonata》の中から任意の1曲。
- (2) M. Regerの作品、又は、フランス近代のシンフォニックな作品。演奏時間は30分程度を旨とする。

### グレード10

技術課題・楽曲をあわせて広範囲な時代様式にわたる作品を含む60分程度のプログラムの演奏。

#### 技術課題

技術課題は設けない。

#### 楽曲

近年の国際コンクール課題曲又はそれと同レベルの曲。